

【現況】





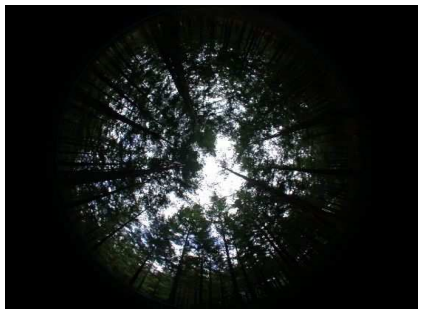







毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	129	83	
平均胸高直径(cm)	10.8	13.9	

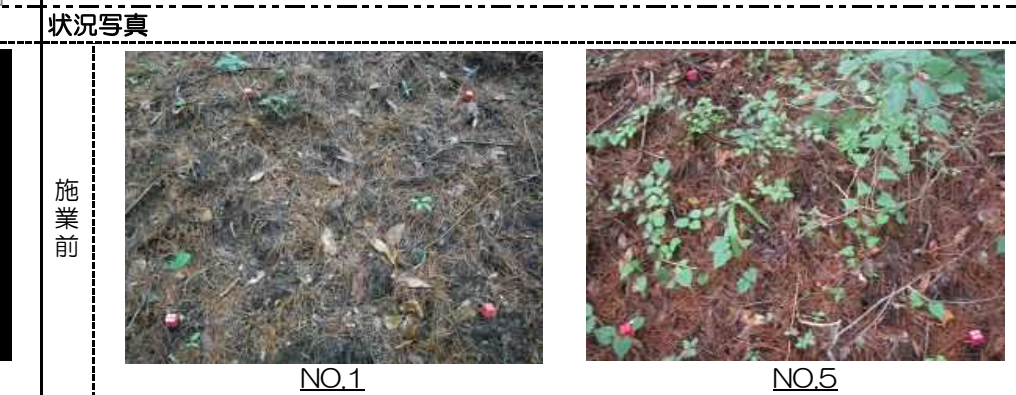
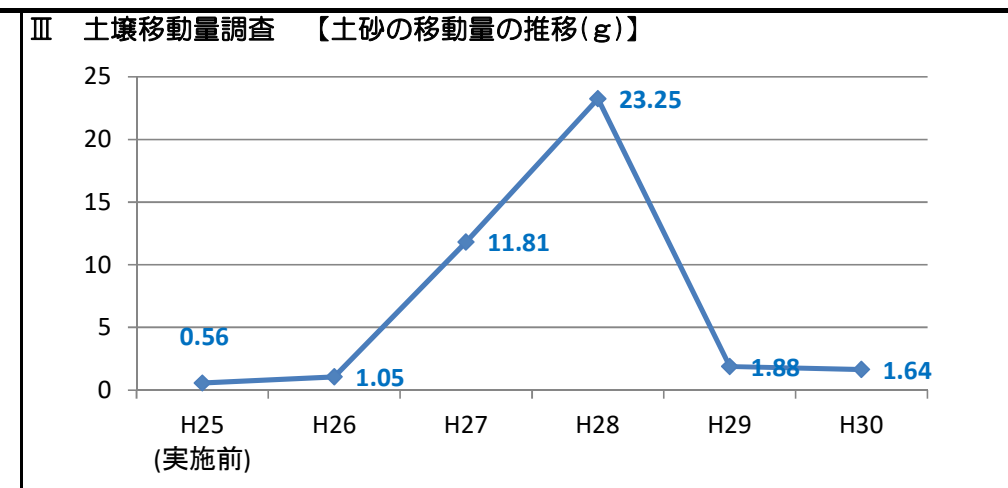
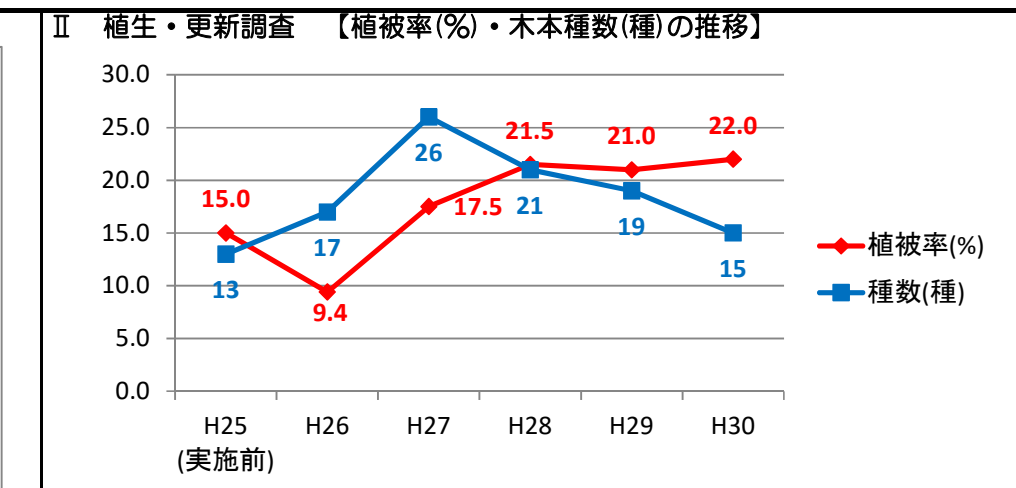
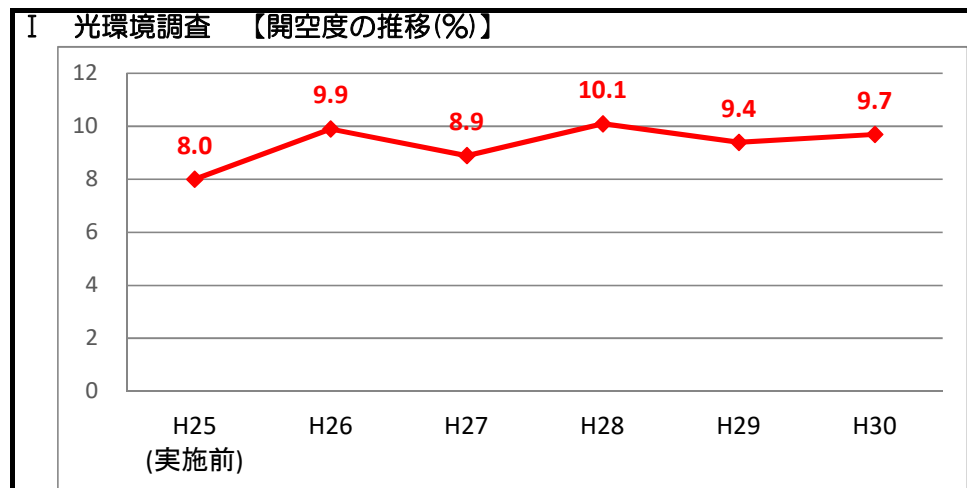
・間伐の結果、林内が明るくなった。
・腐植層は薄く、表土が露出しているが、地表面の平均傾斜が9°とほぼ平坦であるため、土壌流出は見られていない。



【所見】

- ・土砂の移動量は減少し、緩傾斜地でもあるので表土浸食の形跡は見当たらない。
- ・植被率の回復が緩慢であるため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真		状況写真		
3年後 (H28)  NO.2  NO.3	3年後 (H28)  NO.4  NO.5			
4年後 (H29)  NO.2  NO.3	4年後 (H29)  NO.4  NO.5			
5年後 (H30)  NO.2  NO.3	5年後 (H30)  NO.4  NO.5			



【現況】













毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	57	24	
平均胸高直径(cm)	21.3	27.2	

- 間伐の結果、林内がやや明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は25°と、比較的緩勾配。
- 搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- アカマツの落葉等に表土が覆われている。



【所見】

- 植被率は増加しているものの、木本種数は減少していたため、今後の推移を注視する必要がある。
- 土砂の移動量は減少した。

状況写真		状況写真		
3年後 (H28)  NO.2  NO.3	3年後 (H28)  NO.1  NO.5			
4年後 (H29)  NO.2  NO.3	4年後 (H29)  NO.1  NO.5			
5年後 (H30)  NO.2  NO.3	5年後 (H30)  NO.1  NO.5			



【施業前1】



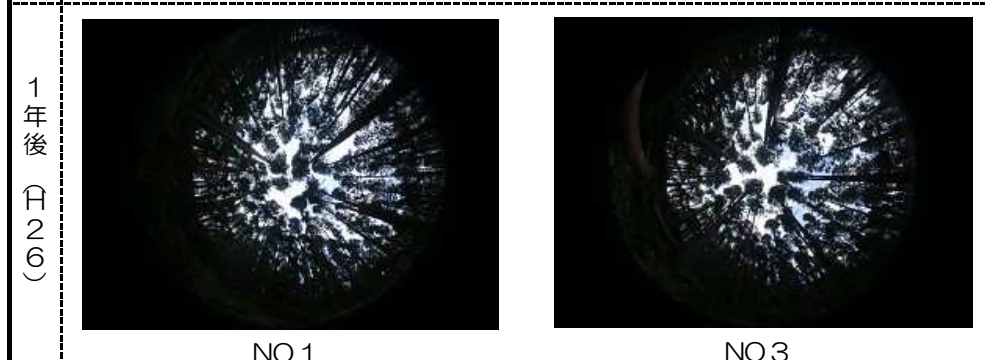
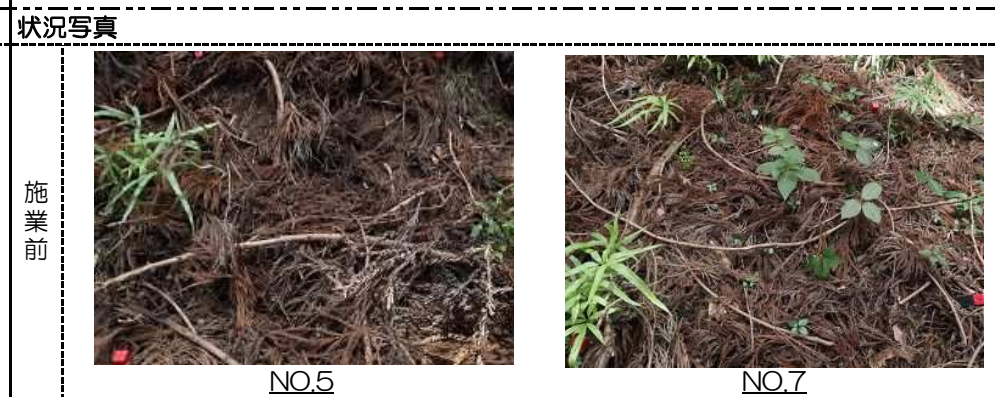
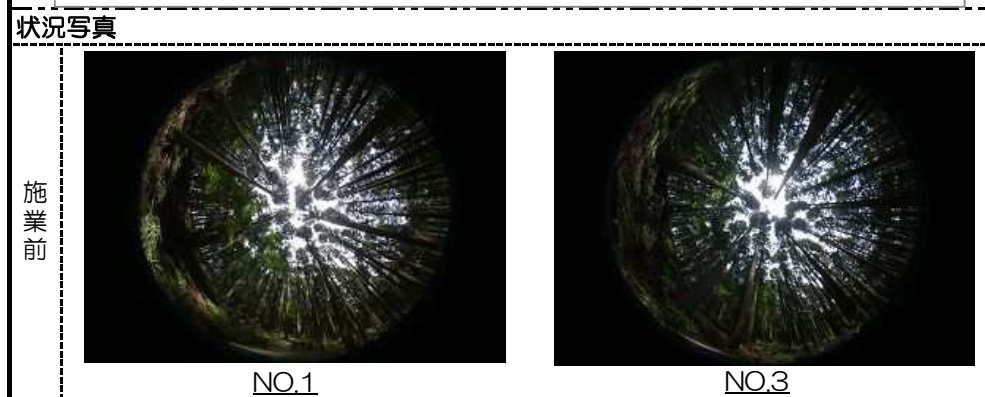
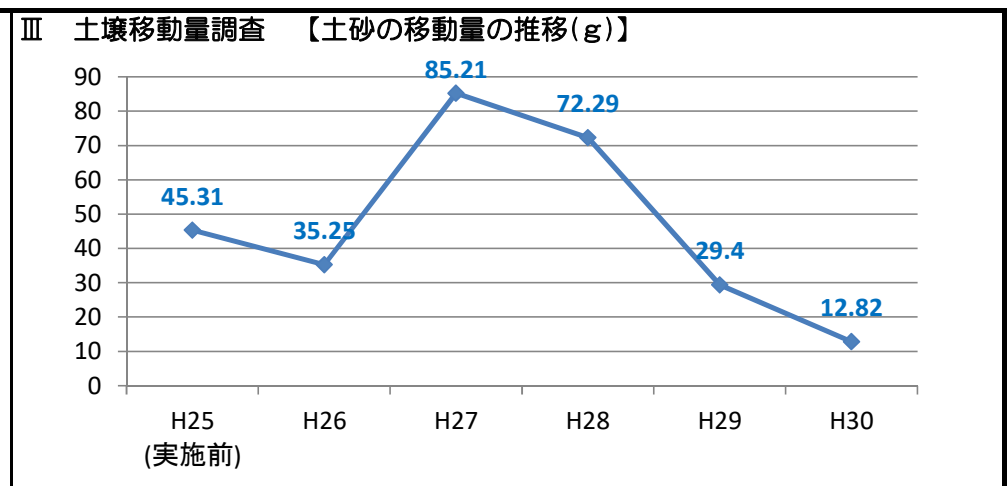
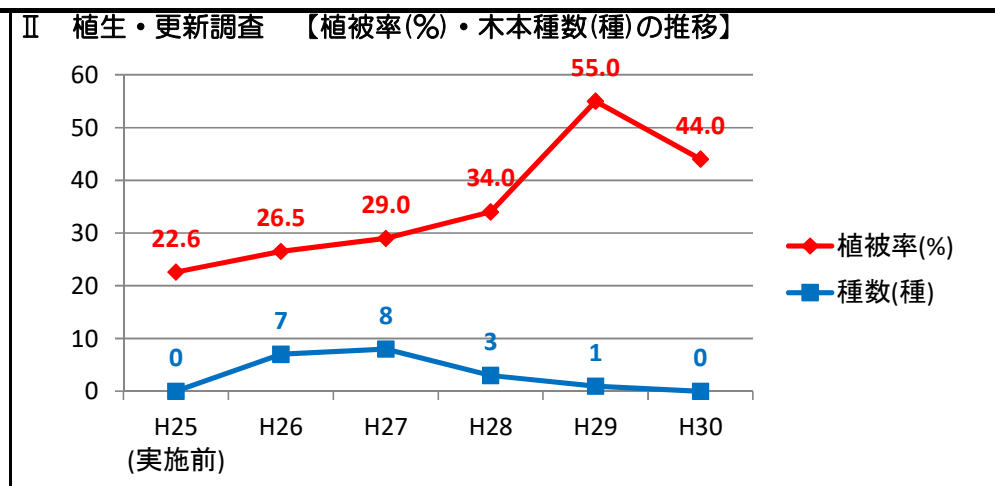
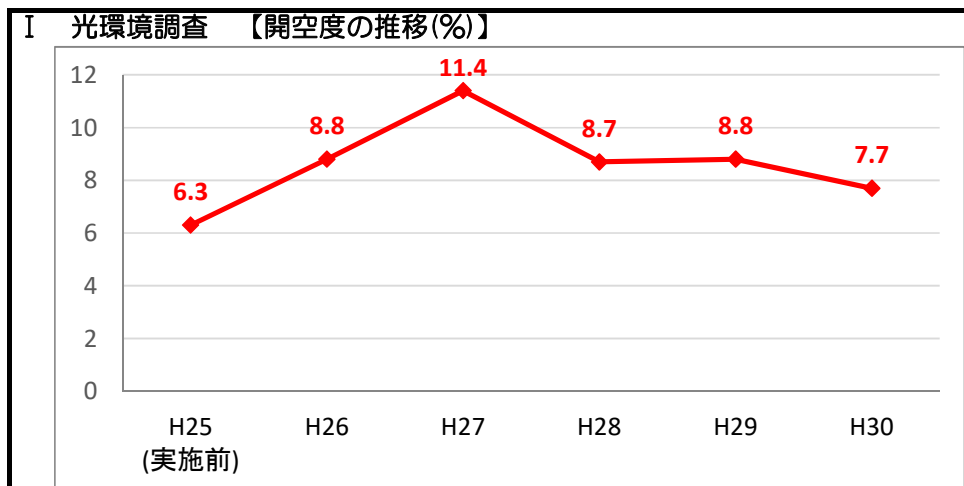
【施業後1】



【施業前2】



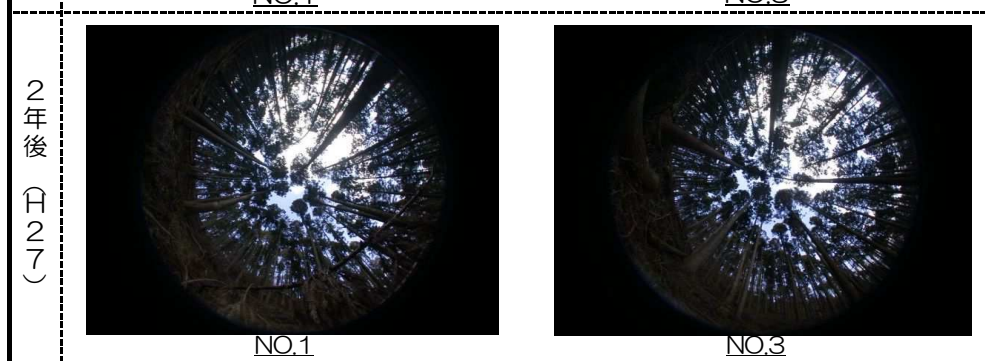
【施業後2】



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	38	27	
平均胸高直径(cm)	26.5	31.0	

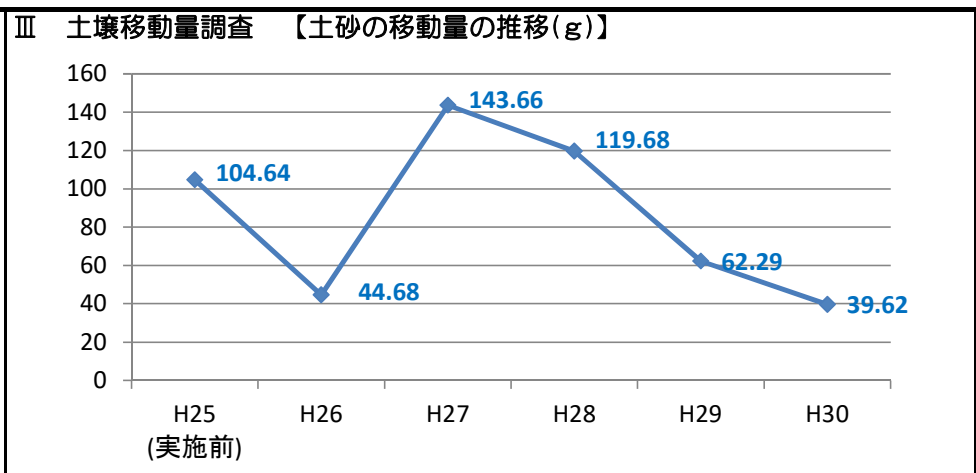
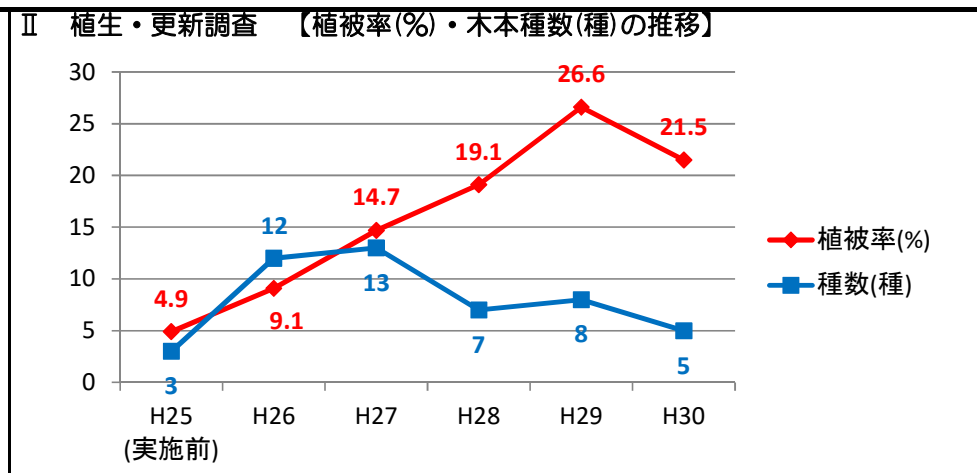
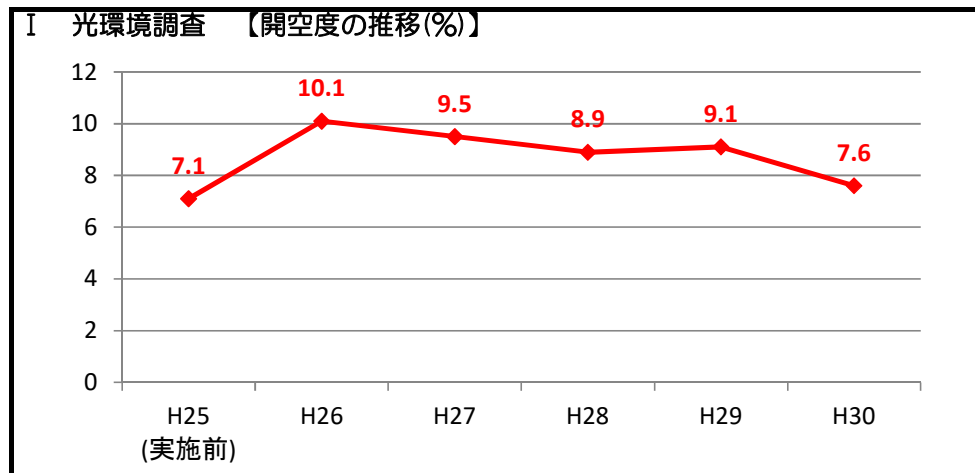
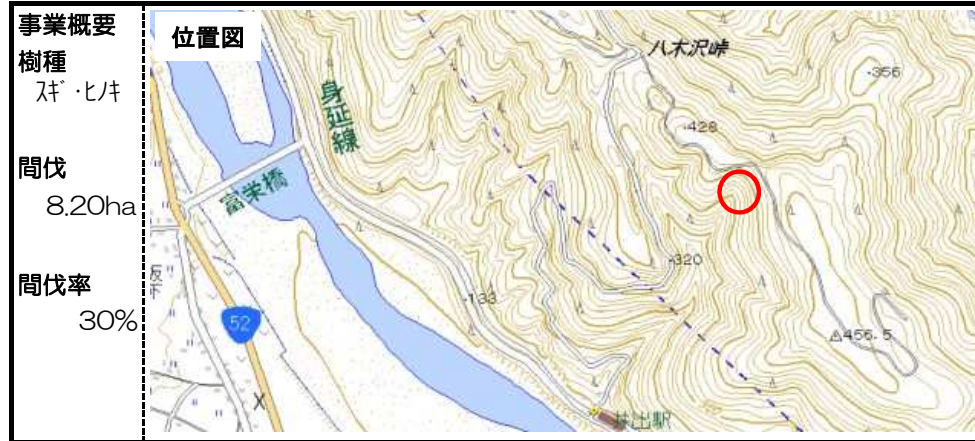
・間伐の実施により、林内が明るくなった。
・地表面の平均傾斜は31°と比較的急勾配であるが、スギの落葉やシダ類等に覆われており、安定している。



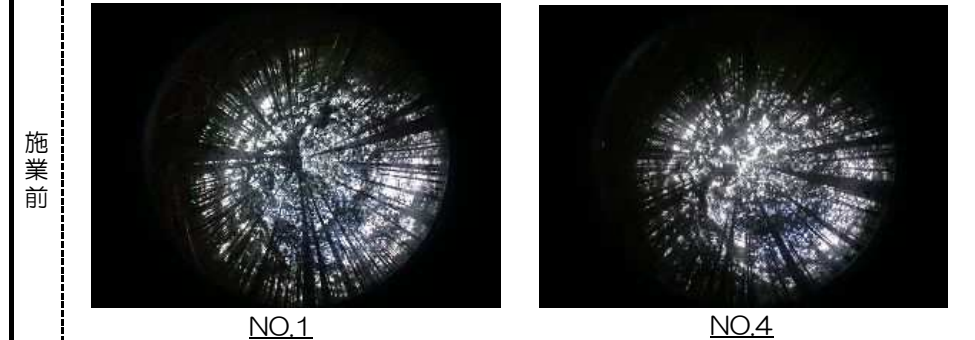
【所見】

・植被率が減少に転じ、木本種数は減少した。
・土壌移動量は減少傾向が継続しており、植被の回復によるものと思われる。

状況写真		状況写真		
3年後 (H28)  NO.1	 NO.3	3年後 (H28)  NO.5	 NO.7	
4年後 (H29)  NO.1	 NO.3	4年後 (H29)  NO.5	 NO.7	
5年後 (H30)  NO.1	 NO.3	5年後 (H30)  NO.5	 NO.7	



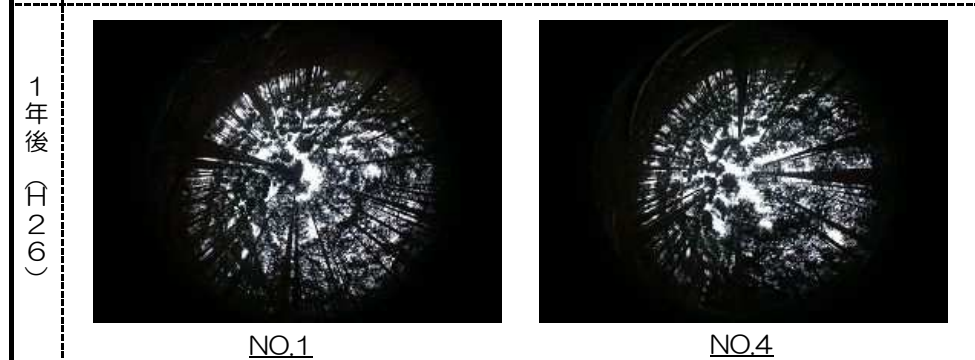
状況写真



状況写真



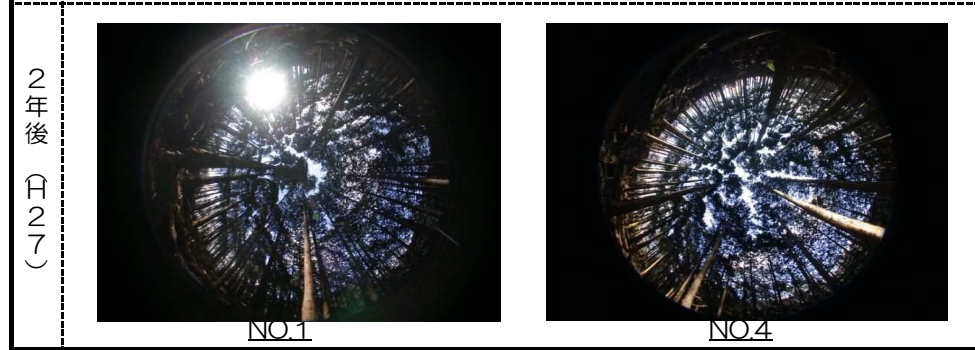
状況写真



【現況】



毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	58	29	
平均胸高直径(cm)	25.0	32.3	

・間伐の結果、林内が明るくなった。
 ・地表面の傾斜は 3.4° と比較的急勾配であるが、スギの落葉が堆積していることもあり、現時点では洗掘等の土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・開空度は若干低下したものの維持されていた。
- ・土砂移動量は減少し、地表面に浸食の痕跡等もみられていない。
- ・木本種数の回復は緩慢であるため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真		状況写真		
3年後 (H28)  NO.1  NO.4	3年後 (H28)  NO.7  NO.9			
4年後 (H29)  NO.1  NO.4	4年後 (H29)  NO.7  NO.9			
5年後 (H30)  NO.1  NO.4	5年後 (H30)  NO.7  NO.9			